

このコーナーは、町内で行われたイベントや活動、町民の皆さんの身近で起きたちょっとした出来事など、1カ月のまちの話題を紹介するページです。



4月7日、町内の小学校の入学式が行われ、新1年生64人が期待

期待に胸躍る新1年生が登校

と喜びを胸に6年間通う学校の門をくぐりました。

環境活動を評価し認定書を授与

4月15日、町内の小中学生が、学校生活の中で環境活動に取り組み学校版町EMS（環境マネジメントシステム）の認定書交付式が町役場で行われました。

この活動は平成15年度から行っており、学校ごとに節電や節水、ごみ分別などの成果を示した『行動報告書』と年度計画の『宣言書』を取り組み内容として提出し、審査により実施状況を確認できた学校が認定される仕組みで、平成20年度からは町内の全小中学校が認定されています。

この日は、各校の児童・生徒代表が参加し、若狭靖町長から一人一人に認定書が渡されました。認定書を受け取った厚岸中学校の博田航平さんが「ごみ拾いやものを大切に使う活動をこれからも継続していきます」と述べました。



遊びのひろばでかわいいこいのぼり作り

4月15日、子育て支援センターで遊びのひろばが開催され、約50人の親子等が参加しました。この日はこどもの日にちなんで、こいのぼりとかぶとを作りました。親子で会話をしながらうろこを貼り、かわいいこいのぼりが完成。かぶとをかぶって『こいのぼり』を歌い、少し早いこどもの日を楽しみました。

期待と不安を胸に太平洋へ出航

4月14日、厚岸翔洋高校（芹沢良道校長）の海洋資源科の3年生



17人が、釧路中央埠頭から実習船『若竹丸（666ト）』で、5月11日までの約1カ月間の長期実習の航海に旅立ちました。

この乗船実習は、国際航海の経験を積んで視野を広めることを目的としており、実習ではサイパン沖でマグロはえ縄漁を体験するほか、船舶の知識の習得や洋上での船内生活を通じて集団生活の規律も学びます。出航前には壮行式が行われ、実習生を代表して戸澤輝太さんが「長い航海で不安はあるが、全力で取り組みます」と決意を述べました。見送りに在校生や保護者など約200人が集まり、激励の言葉を贈っていました。

太田活性化施設『らくとびあ』が完成

4月1日、太田活性化施設『らくとびあ』の開所式が行われ、指定管理者である太田自治会の関係者など60人が出席しました。

太田公民館の老朽化に伴い建て替えられ、会議室や和室のほか、特産品の商品開発のために調理加工室が設けられ、地域活性化の拠点施設として活用されます。



新入生に黄色い傘を贈り交通安全の街頭啓発

4月7日、新1年生を対象に厚岸小学校と真龍小学校で、新入生交通安全街頭啓発が行われました。この啓発運動は、厚岸町交通安全運動推進委員会（会長、若狭靖町長）が毎年行っているもので、犯罪や交通事故から子どもたちを守るために、声掛け運動を実施しています。

それぞれの学校の玄関先では、入学式に登校してきた新1年生と保護者に、厚岸警察署の伊藤隆之署長と大沼隆副町長、交通安全指導員が「車に気をつけて登校するんだよ」などと声を掛け、交通安全の黄色い傘や防犯ブザーなどを一人一人に手渡しました。なお、ほかの小中学校では学校を通じて傘などが渡されました。



楽しい人生を過ごすため生きがい大学スタート

4月16日、厚岸情報館で厚岸町生きがい大学入学式と第1回学習会が行われました。

生きがい大学は厚岸町に在住しているおおむね65歳以上の人を対象に、社会の流れに適應できる教養や生活技術を習得し、生きがいのある人生を送ることを目指して、教育委員会が開設しています。今年度は、新入生7人を含めた51人が2年間の学生生活をスタートさせました。

オリエンテーションの後には、情報館職員から大人向けの絵本読み聞かせや本の紹介などの『ブックトーク』が行われました。

学習会は毎月1回行われ、健康講座や歴史講座、陶芸や福祉スポーツなどのクラブ活動のほか、厚岸警察署による特殊詐欺防止の講座も予定されています。